

# 川上ダム通信

2021  
5  
月号



Vol. 189  
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!  
[https://twitter.com/jwa\\_kawakami](https://twitter.com/jwa_kawakami)

ご意見・ご感想はこちらへ  
<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

## 新所長からのご挨拶

このたび、4月1日付けで川上ダム建設所長として着任しました津久井正明（つくいまさあき）と申します。大阪府に所在する関西・吉野川支社淀川本部より転任してきました。どうぞよろしく申し上げます。

川上ダム建設事業は昭和57年に建設省（現在は国土交通省）から水資源機構の前身である水資源開発公団が事業を引き継ぎ、地権者の方々をはじめとする地元の皆さま、三重県や伊賀市等の関係機関の皆さまの多大なご協力を頂き、事業を進めてまいりました。

皆さまのご支援のもと、ダムの建設工事は、令和元年9月より、堤体コンクリート打設を開始し、令和3年4月20日にはすべての堤体コンクリート打設を完了し、「川上ダム打設完了式」を開催したところです。また、ダム堤体の右岸側では昨年度より、管理棟の工事にも着手しました。

今年度は、試験湛水に向けて、ダムの基礎岩盤とダム堤体とをより強固にするための基礎処理工事やダムの堤頂設備、管理棟の工事を引き続き進めていきます。また、あわせて、ダムの操作をコントロールするためのシステムの構築やダムからの放流をお知らせする警報設備の設置など、ダムを管理するための設備工事も進めていき、安全で確実な試験湛水を実施してまいります。

川上ダム建設事業は長きにわたり、地元の皆さまや関係機関のご理解やご協力のおかげをもちましてここまでたどり着くことができました。感謝申し上げます。川上ダムは令和4年度にダム完成予定としていますが、今後はダムを活かした地域づくりにも軸足を置き、職員一同進めてまいりたいと思います。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

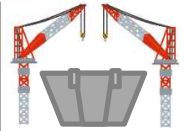


(略歴) 東京都生まれ。  
水資源開発公団に入社し、埼玉県に所在する滝沢ダム建設所に配属され、その後はダム建設事務所や管理事務所、本社、財団法人で勤務。伊賀地方での勤務は初めて。

【所長 津久井正明】



# 川上ダム 堤体コンクリート打設が完了!



皆さまのおかげをもちまして、川上ダムの堤体コンクリート打設を令和3年4月20日に完了することができました。打設完了時には、新型コロナウイルス感染症対策を実施の上で「川上ダム打設完了式」を開催しました。

今後は試験湛水に向けて、仮設備の撤去や基礎処理をはじめとした工事を安全第一で実施してまいります。地元や関係機関の皆さまには、引き続き事業へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



打設完了式 (令和3年4月20日)



堤体全景

## 打設完了までの軌跡

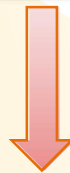
初打設 (令和元年9月20日)



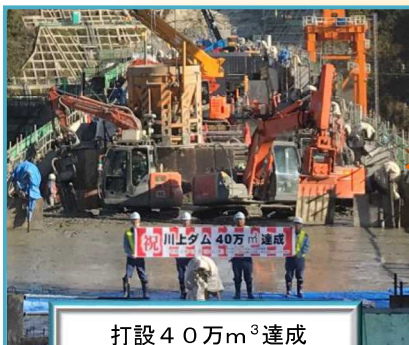
定礎式 (令和元年12月15日)



打設10万m<sup>3</sup>達成 (令和2年2月4日)



打設40万m<sup>3</sup>達成 (令和2年12月10日)



打設30万m<sup>3</sup>達成 (令和2年9月4日)



打設20万m<sup>3</sup>達成 (令和2年5月22日)



【工事課 松尾昂祐】

## 水力発電設備建屋が完成!

令和2年11月号で紹介した建築工事の続報です。

ダム堤体下流の減勢工右岸側において工事を進めていた川上ダム水力発電設備の建屋がついに完成しました。川上ダムでの建屋建築工事では完成第1号です。

また、令和2年夏頃から始まった鉄筋コンクリート造の管理棟工事は、ついにコンクリート打設が終了しました。今後はタイルなどの外壁仕上げに取りかかり、6月頃、外観が明らかとなります。

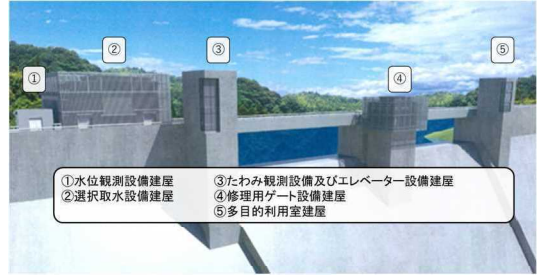
発電設備建屋や管理棟の他にも、ダム堤体上に取水設備などの建屋を建築してまいります。これらの建屋は川上ダム景観コンセプトに基づいて設計されているので、今後の建築工事にもご注目下さい。



発電設備建屋の全景



管理棟の完成はもうすぐです!



堤体建屋のイメージ図

- ①水位観測設備建屋
- ②選択取水設備建屋
- ③たわみ観測設備及びエレベーター設備建屋
- ④修理用ゲート設備建屋
- ⑤多目的利用室建屋

### ~本体工事の進捗状況~

■ :完了   ■ :施工中   ■ :未実施

転流工		基礎掘削	堤体打設・基礎処理	試験湛水	完成!
仮排水路 トンネル	仮締切工 H30.9	H31.4	堤体打設進捗率99.0% 基礎処理進捗率60.1% ▼現在 (3月末時点)		(R5.3予定)

【工務課 山田 聖】

## 選択取水設備開閉装置の工場製作が完了!

選択取水設備の選択取水ゲート上段扉・取水蓋用、下段扉用、保安ゲート用、制水ゲート用の4基の開閉装置の工場製作が完了しました。

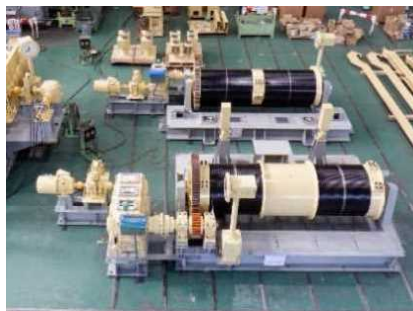
開閉装置とは、扉体(令和3年4月号にて選択取水ゲート扉体を紹介)を巻上げるための装置で、電動機・減速機・ワイヤロープ等によって構成されています。

ゲートの種類によって開閉速度が異なっており、最も時間がかかる下段扉用は約0.3m/分で動き、高低差が約54mあるため、開閉には約3時間を要します。

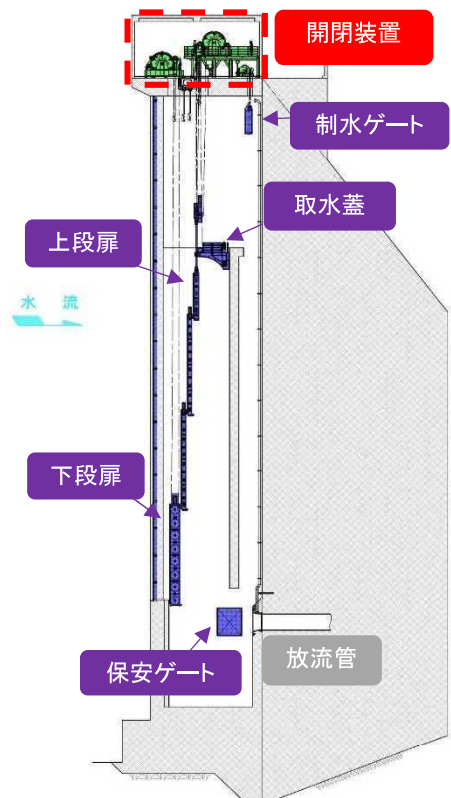
今後は、試験湛水の開始にあわせて順次現場へ搬入し、調整を行ってまいります。



選択取水ゲート下段扉用開閉装置



奥側:保安ゲート用開閉装置  
手前:制水ゲート用開閉装置



【機械課 高橋慶太】



# 広報誌発行事務局メンバー紹介



4月の人事異動により、広報誌発行事務局のメンバーが入れ替わりました。今年度は、新規採用職員1名や他事務所から来た若手2名を新たに迎え入れ、川上ダムに関する情報や地域的话题を、引き続き分かりやすく発信していきます。今年度も、何卒よろしく願いいたします。



新しい広報誌発行事務局をよろしく願いいたします！

写真後列左から  
山田記者、奥野記者（新規）、  
山下記者（新規）

写真前列左から  
近藤記者、渡辺デスク、津久井編集長（新規）、  
荒木デスク（新規）、高橋記者（新規）

※新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、若干距離を空けて撮影しました。



## ～転出・転入者紹介～

### 転出者

### 転入者

所属	氏名	異動先
所長	淵上吾郎	本社
副所長	大竹敏博	木曾川用水総合管理所
総務課長	堀口文憲	本社
総務課	山口貴大	荒川ダム総合管理所
経理課	古賀義文	総合技術センター
用地課長	神田橋修	思川開発建設所
用地課	伊美彰太	木曾川用水総合管理所
調査設計課	矢羽田道雄	筑後川上流総合管理所
環境課	小山和也	草木ダム管理所
工務課	山本健二	中部支社
工事課	村上一徳	本社
工事課	徳永倫一	木津川ダム総合管理所
工事課	藤澤大志	総合技術センター
機械課	下園英世	下久保ダム管理所

所属	氏名	異動元
所長	津久井正明	関西・吉野川支社
副所長	花田俊幸	筑後川下流総合管理所
総務課長	荒木佐知	長良川河口堰管理所
総務課	奥野紗江	本社
経理課	石川忍	関西・吉野川支社
用地課長	武井良三	豊川用水総合事業部
工務課	豊地伸得	中部支社
工事課	山下祥平	新規採用
管理課長	大高英澄	利根川下流総合管理所
管理課	川崎彩花	愛知用水総合管理所
機械課	高橋慶太	香川用水管理所

## 川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を予定しています。詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第31回】令和3年6月20日(日)

【第30回】令和3年5月16日(日)【満員御礼】

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止とさせていただきます。

## 編集後記

記事にもありますとおり、川上ダムの堤体コンクリート打設が完了しました。完成した堤体は圧巻ですので、是非一度ご覧いただければと思います。

各地での新型コロナウイルスの感染拡大は未だ収まっておらず、私達も日々細心の注意を払って、取り組んでおります。皆さまも体調にはお気をつけてお過ごしください。

### 【広報誌発行事務局】

編集長	津久井（所長）	渡辺（工務課長）	近藤（用地課）
デスク	荒木（総務課長）	北爪（調査設計課）	高橋（機械課）
記者	奥野（総務課）	山下（工事課）	
	山田（工務課）		